

## 日米研究インスティテュート (USJI)

### 2013 年度事業報告書

1. 概況	.....	2
2. 研究活動		
(1) 研究プロジェクト構成	.....	2
(2) 研究成果発信	.....	3
(3) ネットワークおよびデータベース構築	.....	5
3. コミュニティ形成	.....	6
4. 人材育成		
(1) 共同授業・学生勉強会	.....	7
(2) インターンシップ	.....	7
(3) Center for the Study of the Presidency and Congress (GSPC) Presidential Fellows Program への日本人学生の派遣	.....	7
(4) Building the TOMODACHI Generation (BTG) の実施	.....	8
5. その他の事業	.....	8

## 1. 概況

日米研究インスティテュート(USJI)は、日本の5大学(京都大学、慶應義塾大学、東京大学、立命館大学、早稲田大学)によって2009年4月にワシントンD.C.に設立された米国NPOであり、2010年4月に米国政府公認の免税団体資格501(C)(3)に承認されました。2012年4月には新たに3大学(九州大学、筑波大学、同志社大学)が運営に加わり、2013年度は8大学による運営の2年目にあたりました。

研究活動では「環境・エネルギー」、「安全保障」、「地域協力・統合」を主とする日米を基軸としたグローバルな課題を扱い、各テーマによって研究プロジェクトを構成しました。今年度には8プロジェクトを構成し、2度のUSJIウィーク、複数回のUSJIセミナー、USJI国際シンポジウム等で研究成果を発信しました。各イベントにおいては、USJIホームページ等でサマリー、発表資料、映像等を発信し、参加者のみならず社会に対しても研究成果を発信しました。

その他には、ワシントンD.C.近辺で開催された他機関が主催するセミナー等に参加し、その内容をニューズレターとして賛同団体関係者、日米政府関係者等に発信したとともに、連携大学の教員による最新の研究内容をリサーチレポートとして月1回の頻度で発信しました。

コミュニティ形成、人材育成では、日米関係を専門とする若手研究者や日米関係に興味を持つ学生、日本企業の現地法人の社員等に交流や議論の場を提供し、知日層・親日層の拡充・育成に注力しました。ワシントンD.C.内においてUSJIの活動の認知度が高まってきたことにより、USJIが共催・協力する各団体、日米政府の事業が増えてきました。今年度にUSJIが共催・協力した主な他団体の事業としては以下を挙げられます。

- ・Center for the Study of the Presidency and Congress (CSPC) Presidential Fellows Program への日本人学生の派遣
- ・US-Asia Institute (USAI)、全米アジア研究機構(NBR)とのA Capitol Hill Forum on Japanの実施
- ・ワシントンセンター(TWC)とのBuilding the TOMODACHI Generation (BTG)の実施

## 2. 研究活動

### (1) 研究プロジェクト構成

今年度は「環境・エネルギー」、「安全保障」、「地域協力・統合」の3つを主な課題とし、以下の8件の研究プロジェクトを構成しました。

#### 1) 環境・エネルギー

研究テーマ：環境と資源：気候変動問題と資源問題に関する日米の対応

研究期間：2013年4月～2014年3月

代表研究者：弦間正彦（早稲田大学）

研究テーマ：バイオ燃料のための冷水藻類－新しい代替エネルギー源  
研究期間：2013年6月～2014年3月  
研究代表者：ピーター・ウィルソン（筑波大学）

2) 地域協力・統合

研究テーマ：東アジア共同体と日米関係  
研究期間：2013年4月～2014年3月  
代表研究者：大賀哲（九州大学）

3) その他（日米の政治、経済、社会、教育、医療、宗教等）

研究テーマ：顎顔面頭蓋分子発生生物学を基盤とした歯科・口腔医学トランスレーショナルリサーチ  
研究期間：2013年4月～2014年3月  
代表研究者：高橋一郎（九州大学）

研究テーマ：日米市民社会の比較研究  
研究期間：2013年4月～2014年3月  
代表研究者：辻中豊（筑波大学）

研究テーマ：日米関係における宗教・社会要因  
研究期間：2013年4月～2014年3月  
研究代表者：村田晃嗣（同志社大学）

研究テーマ：日本病からの再生 -Can Japan Come Back?-  
研究期間：2013年4月～2014年3月  
研究代表者：中達啓示（立命館大学）

研究テーマ：高等教育のグローバル化とオープン化が日米の大学に与える影響  
研究期間：2013年6月～2014年3月  
研究代表者：飯吉透（京都大学）

(2) 研究成果発信

ワシントン D. C. において 2 度の USJI ウィーク、複数回の USJI セミナーを開催し、東京においても USJI 国際シンポジウムを開催しました。各イベントのサマリー、発表資料、映像等を USJI ホームページ等で発信しました。

1) USJI ウィーク

2012 年 9 月に以下の 6 つのイベントを開催し、約 450 名に参加していただきました。イベ

ント1, 2はブルッキングス研究所、早稲田大学日米研究機構と、イベント4は米日カウンシル、ワシントンセンターと、イベント7は早稲田大学日米研究機構と共催しました。イベント2においては国際交流基金日米センターから助成を受けました。谷内正太郎内閣官房参与、佐々江賢一郎駐米日本大使等に出演していただきました。

- Event 1: How Can the Obama and Abe Administrations Manage the Alliance to Promote Common Prosperity in the Asia-Pacific?
- Event 2: How Can the Obama and Abe Administrations Manage Multiple FTAs to Promote Common Prosperity in the Asia-Pacific?
- Event 3: Building the TOMODACHI Generation Program Launch and Networking Reception
- Event 4: Typology of Inbound Foreign Direct Investment in Japan
- Event 5: Contribution of US-Japan exchange of researchers in development of the molecular basis of dental and maxillofacial regenerative medicine leading collaboration among South-East Asian countries and US-Japan
- Event 7: Cutting-edge Social Science Research of International Tuna Negotiations

2014年2月には以下の10個のイベントを開催し、約400名に参加していただきました。イベント9は米日カウンシル、ワシントンセンターと、イベント10は全米アジア研究機構と共催し、イベント8は国際交流基金日米センターから助成を受けました。リチャード・アーミテージ元国務副長官等に出演していただきました。

- Event 1: Atoms for Dream: Holding the American Umbrella in the Atomic Driving Rain
- Event 2: Worsening Sino-Japanese Relations and the U.S.
- Event 3: Social Innovation: U.S.-Japan Comparison Studies in this New Emerging New Trend in Innovation
- Event 4: "Abenomics" and U.S.-Japan Relationship
- Event 5: Technological Innovation and Expansion of the Asia-Pacific
- Event 6: Internet Governance in Asia: A New Focus for U.S.-Japan Cooperation?
- Event 7: The Possibilities and Issues of Globalized and Open Higher Education for Japan and U.S. Universities
- Event 8: Transformation of the U.S.-Japanese Relations in Global Governance
- Event 9: Building the TOMODACHI Generation: Engaging U.S. and Japanese University Students in Social Problem-Solving
- Event 10: Sino-Japan Dynamics and Implications for the U.S.-Japan Alliance

## 2) USJI セミナー

政治家としては下村博文文部科学大臣、西村康稔内閣府副大臣、木原誠二外務大臣政務官、河野太郎衆議院議員、その他には日米シンクタンク、連携大学等に所属する研究者に出演して

いただきました。

### 3) USJI 国際シンポジウム

2013年12月12日に東京で「安倍政権の一年と今後の方向：外交・安全保障戦略」を開催しました。マイケル・アマコスト元駐日米国大使、小野寺五典防衛大臣による基調講演、村田晃嗣同志社大学長、谷内正太郎内閣官房参与、連携大学研究者によるパネルディスカッションを行い、460名に参加していただきました。

### 4) USJI ニュースレター

ワシントン D.C. 近辺で開催されたアメリカ合衆国上院外交委員会、カーネギー国際平和財団、ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院エドウィン・O・ライシャワー東アジア研究所、日本大使館、ブルッキングス研究所、ヘンリー・L・スティムソン・センター等が主催するセミナー等に参加し、メディア等からは得られない情報を賛同団体関係者、日米政府関係者に発信しました。

### 5) USJI リサーチレポート

連携大学の教員による最新の研究内容を USJI データベース登録者に発信しました。

## (3) ネットワークおよびデータベース構築

### 1) ネットワーク構築

以下を主とした在米のシンクタンク、大学、その他団体等とのネットワークを構築し、情報共有、イベント共催等の連携を拡充しました。

研究機関：Center for a New American Security (CNAS)、The Council on Foreign Relations (CFR)、Center for Strategic and International Studies (CSIS)、Carnegie Institution for Science、The Brookings Institution、National Institutes of Health (NIH)、Woodrow Wilson International Center for Scholars、Carnegie Endowment for International Peace、US-Asia Institute (USAI) 等

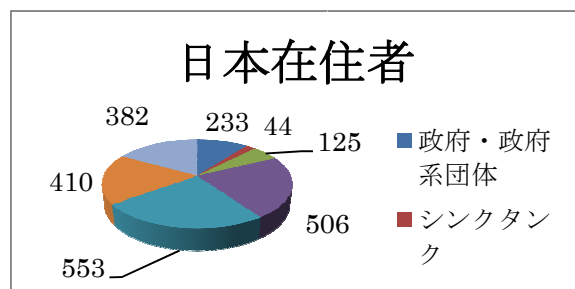
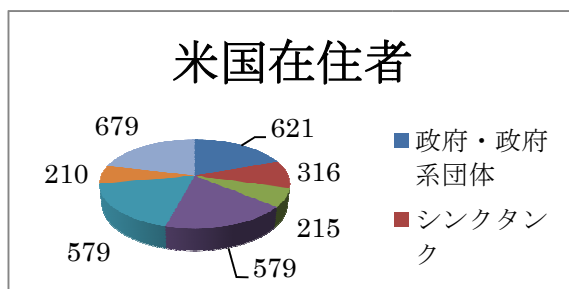
大学：ジョージ・ワシントン大学、ジョージタウン大学、ジョンズ・ホプキンス大学、アメリカン大学、フレッチャー法律外交大学院、メリーランド大学、イェール大学、コロンビア大学、ハーバード大学、ボストン大学、マサチューセッツ工科大学、ニューヨーク市立大学、コーネル大学、プリンストン大学、ペンシルバニア大学、ミシガン大学、ミネソタ大学、ラトガース大学、アイダホ大学、ウィンザー大学、スタンフォード大学、カリフォルニア大学バークレー校、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、ワシントン大学、モントクレア州立大学、トーマス・ジェファーソン法科大学院、バージニア大学、国防大学等

政府系団体：米国大使館、国務省、農務省、教育省、国防総省、国土安全保障省、米国議会調査局、JETRO、JICA、JSPS/JST、USJC、CULCON 等

米国企業・団体等：インテル、ワシントン・ポスト、iRobot、IBM、世界銀行、国際通貨基金、米日財団、ヘリテージ財団、マンスフィールド財団、笹川平和財団、S&R財団、ワシントン日本商工会等

## 2) データベース構築

以下の通り、データベースの登録者数が約 5,450 件（米国 3,200 件、日本 2,250 件）に達しました。



## 3. コミュニティ形成

USJI ウィーク時（2013年9月・2014年2月）に Social Networking Reception を開催し、日米関係を専門とする若手研究者や日米関係に興味を持つ学生、日本企業の現地法人の社員等に交流や議論の場を提供し、主にワシントン D.C. でのコミュニティ形成に寄与しました。

その他には、日米の政府政策決定、企業意思決定に影響を与えられるコミュニティを形成させるため、USJI ワシントン D.C. 本部の会議室を開放し、ミーティング、ラウンドテーブル等の様々な交流に寄与しました。主に寄与したのは以下の通りです。

### 1) A Capitol Hill Forum on Japan (US-Asia Institute (USAI)、全米アジア研究機構 (NBR) 共催)

対象：米国議会関係者

概要：ワシントン D.C. に本部を構える米国 NPO の NBR、USAI と共催し、日本に関する知識の少ない米国議会関係者を対象とし、日本の各分野の第一線で活躍する研究者、実務家等による日本理解のための入門講座「A Capitol Hill Forum on Japan (Japan 101 Seminar Series Pre-event)」実施しました。今年度は9回を実施しました。

### 2) 和新会

対象：賛同団体を中心とする公官庁、日本企業の若手

概要：政治、経済、社会、教育等の各分野において各人が政策を提言する場を設け、米国人の日本研究者等との意見交換を実施した。今年度は5回を実施しました。

### 3) Japan Policy Workshop

対象：日本の公官庁からワシントン D.C. の団体への出向者、日本の大学からワシントン D.C. の大学への留学生を中心とする日本の政策に興味を持つ有志

概要：日本が抱える様々な課題について政策担当者（公官庁関係者）からレクチャーを受け、現状の問題点・今後の方向性について自由闊達な議論を行います。今月は実施しませんでした。

## 4. 人材育成

### (1) 共同授業・学生勉強会

ワシントン D.C. 近辺の大学、シンクタンクの研究者、日本企業の現地法人の社員、USJI の連携大学の研究者等を講師とする学生勉強会を実施しました。今年度は学生勉強会を 9 回実施し、共同授業は実施しませんでした。

### (2) インターンシップ

日米関係に興味を持つ米国の大学の学生を中心とし、今年度は USJI ワシントン D.C. 本部で 3 名の学生を受け入れました。主な業務は以下の通りでした。

- ・ USJI イベントの運営サポート、サマリー作成
- ・ USJI ホームページ、パンフレット等の英語添削
- ・ 他団体開催イベントのサマリー作成
- ・ USJI ワシントン D.C. 本部の運営サポート

今年度のインターン生の所属（出身）大学と受入人数

所属（出身）大学	人数	（男性）	（女性）
American University	1	(0)	(1)
St. John's University	1	(1)	(0)
The University of Tokyo	1	(0)	(1)
計	3	(1)	(2)

### (3) Center for the Study of the Presidency and Congress (CSPC) Presidential Fellows Program への日本人学生の派遣

米国では次世代リーダー育成を目的としたプログラムが充実しています。中でも Center for the Study of the Presidency and Congress (CSPC) 「大統領学研究センター」が主催している主として米国人大学生を対象とした Presidential Fellows Program は、米国トップ大学生が年 2 回（秋 10 月末、翌年春 3 月各 1 週間）ワシントン D.C. に集まり、ホワイトハウスや議会の主要メンバーらと米国の政策等について議論を行い、研究課題に沿ったレポートを作成する過程で次世代のリーダー育成に評価が高い。トヨタ自動車株式会社の支援により、USJI は 2011 年から日本から国際フェロー 2 名の選抜・派遣を開始し、優秀な学生を継続的に送り出しています。今

年度は4大学から応募があり、以下の2名を派遣しました。

大学	氏名	研究テーマ
京都大学	高野詩織	アメリカにおける政策立案決定過程
早稲田大学	庄子航平	米国の貿易円滑化へ投資に関するコスト・ベネフィット分析

#### (4) Building the TOMODACHI Generation (BTG)の実施

Building the TOMODACHI Generation「トモダチ世代の構築」は、ワシントンセンター(TWC)とUSJIが共催する日米の大学生を対象に共にリーダーシップ開発や社会問題解決を学び、参加者間の継続的なコミュニケーションを通じ国内・海外のリーダーシップの能力を育てることを目的とした2週間の短期集中プログラムです。実施初年度となる2013年度は、USJIの連携8大学から各2名(計16名)と、米国大学から12名の合計28名が参加しました。

この事業は、ルース元駐日大使の呼びかけに応じて始められたTOMODACHI Initiativeの一環の事業です。日米両国政府及び日本のトヨタ自動車株式会社、三菱商事株式会社、株式会社日立製作所などの民間企業のご支援をいただき設立されたTOMODACHI Fundから支援をいただいています。

所属大学	学年	氏名
九州大学教育学部	3年	松本 理沙
九州大学工学部	3年	重松 藍
京都大学法学部	3年	音無 知展
京都大学大学院経済学研究科	2年	大山 遼
慶応義塾大学法学部	2年	守屋 滯
慶応義塾大学法学部	2年	小林 明日香
筑波大学医学群医学類	5年	山東 典晃
筑波大学社会・国際学部	4年	大内 晴香
東京大学大学院総合文化研究科	2年	佐藤 綾野
東京大学教育学部	4年	尾形 夏子
同志社大学法学部	4年	西尾 香
同志社大学法学部	5年	今西 剛士
立命館大学法学部	4年	川嶋 紗由美
立命館大学文学部	3年	富田 すみれ子
早稲田大学社会科学部	3年	中村 匠
早稲田大学政治経済学部	2年	木村 優吾

University	Year	Name
University of Florida	Junior	William Adams



Interamerican University of Puerto Rico	Junior	José Auffant
Westfield State University	Senior	Brittany Bones
University of Pikeville	Senior	Thomas Browning
Anderson University	Senior	Suzanne Fils-Aime
The College of Idaho	Junior	Courtney Indart
The Richard Stockton College of NJ	Senior	Ben Peoples
University of Dayton	Senior	Christopher Smith
University of South Florida	Junior	Rachael Soloway
St. Lawrence University	Junior	Chloe Wingerter
University of Massachusetts Amherst	Junior	Eric Popp
High Point University	Junior	StarWynn

#### 5. その他の事業

ワシントン D.C. で研究・調査を行う若手研究者に対して USJI ワシントン D.C. 本部のオフィスを貸し出し、活動をサポートしました。

以上

名称 : U.S.-Japan Research Institute (英語)  
日米研究インスティテュート日本語 (日本語)  
USJI (略称)

団体資格 : 501(c)(3)免税非営利公益法人 (米国 NPO)

設立日 : 2009年4月14日

ホームページ : <http://www.us-jpri.org/en/> (英語)  
<http://www.us-jpri.org/> (日本語)

メールアドレス : [usjp@us-jpri.org](mailto:usjp@us-jpri.org)

所在地 : 1875 I Street NW, Suite 512, Washington, DC 20006 (ワシントン D.C. 本部)  
〒169-8050 東京都新宿区戸塚町 1-104 早稲田大学総長室経営企画課内 (日本オフィス)

連絡先 : 202-775-4161 (ワシントン D.C. 本部電話番号)  
03-5286-8740 (日本オフィス電話番号)  
03-5286-8385 (日本オフィスファックス番号)

